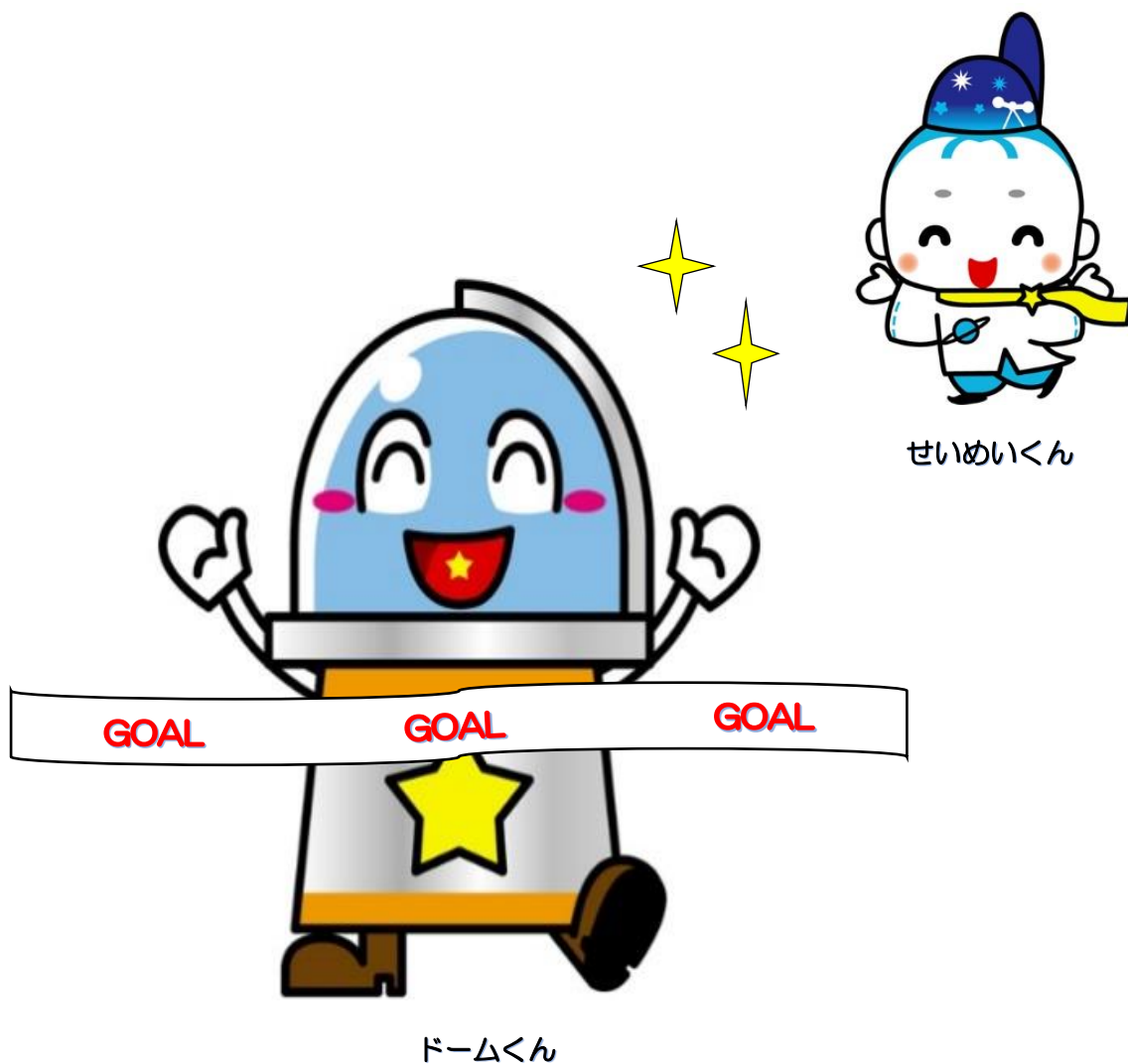


# 浅口市スポーツ推進計画

スポーツで創ろうみんなの笑顔☆キラリと光る元気なあさくち



令和3年4月

浅口市教育委員会

## 浅口市スポーツ推進計画 目次

第1章 計画の策定にあたって	3
1 計画策定の趣旨	3
2 計画の位置づけ	3
3 計画の期間	3
第2章 浅口市の現状と課題	4
1 社会状況の変化と課題	4
(1) スポーツに関する国の動向	4
(2) 人口減少・少子高齢化社会への対応	4
(3) ライフスタイルの多様化への対応	4
2 スポーツ施設の状況	5
3 主なスポーツ関係団体の状況	6
4 スポーツ大会の開催状況	7
5 浅口市スポーツ振興基本計画の振り返り	7
(1) スポーツ環境の整備充実	8
(2) スポーツ施設の整備充実	10
(3) スポーツ指導者の確保と質の向上	11
第3章 計画の基本的な考え方	13
1 基本理念	13
2 基本施策	13
(1) 生涯スポーツの推進	13
(2) 競技スポーツの推進	14
(3) スポーツ施設の整備・充実及び活用	14
3 施策体系	14

第4章 施策項目	15
1 生涯スポーツの推進	15
(1) ライフステージに応じたスポーツの推進	15
(2) 障がい者スポーツの推進	15
(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進	16
(4) スポーツ推進委員活動の充実	16
(5) スポーツ協会・スポーツ少年団への活動支援	17
(6) 総合型地域スポーツクラブへの活動支援	17
2 競技スポーツの推進	17
(1) 選手、団体及び指導者への支援	17
(2) ハイレベル技術に触れる機会の充実	18
3 スポーツ施設の整備・充実及び活用	18
(1) 公共スポーツ施設の整備・充実及び活用	18
(2) 学校スポーツ施設の活用	18
第5章 計画の推進と進行管理	18
1 計画の推進	18
2 進行管理	19
アンケート調査結果	20
1 アンケート概要	20
2 調査結果の処理	20
3 アンケート項目及び結果	21
参考資料	36
1 策定経過	37
2 浅口市スポーツ推進審議会条例	38
3 浅口市スポーツ推進審議会委員名簿	41

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

本市では、平成22年3月に「浅口市スポーツ振興基本計画」を策定し、市民のニーズや期待に適切に応え、一人ひとりがスポーツ活動を実践的に継続できる環境作りを進め、子どもから高齢者までのすべての人が自分の志向や体力に応じたスポーツを行い、より健康に、より幸せに暮らしていけるまちの実現を目指し、生涯スポーツの推進や施設整備等、様々な施策を展開してまいりました。

こうしたなか、国においては、スポーツを巡る状況の変化に対応すべく、制定から50年が経過した「スポーツ振興法」を見直し、平成23年に新たに「スポーツ基本法」が制定されました。また、同法第9条の規定に基づきスポーツの推進に関する基本的な計画「スポーツ基本計画」が平成24年3月に策定され、平成29年3月には「第2期スポーツ基本計画」が策定されました。

岡山県においては、県民の心身ともに健康な生活及び活力ある地域社会の実現に寄与することを目的に、平成24年7月に「岡山県スポーツ推進条例」の制定及び「スポーツ立県おかやま」宣言が行われ、平成25年3月に「岡山県スポーツ推進計画」が策定され、平成30年3月の中間見直しで改定がなされました。

こうした国や県、本市の動向を踏まえて、計画期間が満了した「浅口市スポーツ振興基本計画」を見直し、本市における一層のスポーツ推進に取り組み、市民の誰もが、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに取り組めるまちづくりを目指して「浅口市スポーツ推進計画」を策定します。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に規定される地方スポーツ推進計画として策定するもので、策定に当たっては国や県及び「第2次浅口市総合計画」内のスポーツ施策との整合性を図り、本市の実情に即したスポーツ推進政策を進める上での指針と位置付けるものです。

## 3 計画の期間

本計画の計画期間は、2021年度（令和3年度）から2031年度（令和12年度）の10年間とします。

また、スポーツ環境の変化等に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

## 第2章 浅口市の現状と課題

### 1 社会状況の変化と課題

#### (1) スポーツに関する国の動向

平成22年8月にスポーツを国家戦略とする「スポーツ立国戦略」が策定され、この中で「する人、観る人、支える（育てる）人の重視」という基本的な考え方が示されました。

平成24年3月には「スポーツ基本計画」が策定され、スポーツの果たす役割を踏まえ、目指すべき社会の姿が示されました。

平成27年10月には「スポーツ庁」が設置され、これまで複数の府省庁で行われていたスポーツ関連施策や権限が一元化されました。

平成29年3月には「第2期スポーツ基本計画」が策定され、第1期で示された基本的な方針を引き継ぎつつ、①スポーツで「人生」が変わる、②スポーツで「社会」を変える、③スポーツで「世界」とつながる、④スポーツで「未来」を創るという4つの観点から「スポーツの価値」を具体化し発信することで、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創ることを基本方針としています。

これらを踏まえ、本市においてもスポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの基本的視点から捉え、スポーツ推進を図っていく必要があります。

#### (2) 人口減少・少子高齢化社会への対応

令和2年12月1日時点における本市の人口（住民基本台帳）は33,968人であり、前計画策定時の平成22年12月1日時点の37,188人から約8.7%減少しています。また、14歳以下の人口が4,432人から3,670人と約17.2%減少し、65歳以上の人口が11,033人から12,413人と約12.5%増加するなど、少子高齢化も進行しています。今後、人口減少を少しでも緩やかにし、年代構成のバランスが取れた活力あるまちづくりを目指すためには、スポーツを通じた健康で文化的な生活を送れる環境づくりが必要です。

#### (3) ライフスタイルの多様化への対応

今の社会は、人口減少や少子高齢化、核家族化による家族形態の変化、情

報化社会の進展などにより、人と人、人と地域とのつながりが希薄化しています。また、運動不足や食生活の乱れなどによる生活習慣病のリスク増大、複雑多様化する現代社会におけるストレスなどによる健康への影響も懸念されています。

こうした中、スポーツ活動は、人間関係づくりや地域社会の活性化、生活習慣病やストレスの予防・改善策として期待されています。

## 2 スポーツ施設の状況

浅口市のスポーツ施設は、公共スポーツ施設が21施設、公立小・中学校の運動場・体育館等の学校スポーツ施設が20施設あります。令和元年度の公共及び学校スポーツ施設利用者数は、約312,000人となっています。

施設や設備の一部は老朽化が進んでおり、適切な維持管理計画に基づく計画的な修繕、改修及び維持管理が求められています。

表 スポーツ施設一覧

地域	施設名	施設内容	利用人数 (令和元年度)
金光町	金光スポーツ公園	テニスコート	4,739人
		グラウンド	14,458人
		多目的広場	1,109人
	遙照山総合公園グラウンド		4,484人
	金光駅西公園	グラウンド	14,857人
テニスコート		2,041人	
鴨方町	天草公園	体育館	22,025人
		武道館	21,057人
		テニスコート	6,540人
		野球場	6,001人
		子どもと老人の広場	11,953人
	ふるさとかもがたプラザ(ビッグハット)		25,838人
	鴨方B&G海洋センタープール		11,098人

寄 島 町	三ツ山スポーツ公園	運動場	28,469人
		シェルター	4,325人
		グラウンド・ゴルフ場	9,224人
	フットサル場		11,946人
	寄島東体育館		5,214人
	寄島 B&G 海洋センター	プール	7,851人
		体育館	7,902人
	寄島運動場		4,083人
	寄島武道場		7,744人
	寄島テニスコート		3,126人
学 校 施 設	金光竹小学校		5,721人
	金光吉備小学校		7,067人
	金光小学校		16,805人
	金光中学校		9,444人
	鴨方東小学校		7,727人
	鴨方西小学校		4,459人
	六条院小学校		13,070人
	鴨方中学校		8,551人
	寄島小学校		2,919人
	寄島中学校		1,080人

### 3 主なスポーツ関係団体の状況

浅口市スポーツ推進委員協議会※は、現在28名の委員で活動しており、生涯スポーツの担い手として、地域におけるスポーツの実技指導や普及活動を実践しています。（※平成24年度に「浅口市体育指導委員協議会」は、「浅口市スポーツ推進委員協議会」へと名称変更しました。）

浅口市スポーツ協会※は、13種目の専門部と25団のスポーツ少年団で構成されており、活発な活動を行っています。会員数は令和元年11月時点で、専門部が620名、少年団は指導者を含めて720名です。（※令和2年度に「浅口市体育協会」は、「浅口市スポーツ協会」へと名称変更しました。）

【浅口市スポーツ協会 専門部（13部）】

野球部、シニア野球部、ソフトテニス部、硬式テニス部、バレーボール部、ソフトボール部、バドミントン部、軽スポーツ部、グラウンド・ゴルフ部、ゴルフ部、剣道部、陸上競技部、フットベースボール部、（休部中：レクリエーション部、スキー部、少林寺拳法部）

【浅口市スポーツ協会 スポーツ少年団（25団）】

剣道（3団）、ソフトボール（3団）、バレーボール（3団）、柔道（2団）、空手道（2団）、サッカー（2団）、ミニバスケットボール（2団）、少林寺拳法（1団）、ソフトテニス（1団）、バドミントン（1団）、軟式野球（1団）、硬式野球（1団）、レスリング（1団）、卓球（1団）、陸上競技（1団）

総合型スポーツクラブは、「NPO 法人あさくちスポーツクラブ遊ぶところ」が平成21年2月に発足し、活発に活動しています。

【NPO 法人あさくちスポーツクラブ遊ぶところ主催の定期教室及び事業】

- ① 定期教室：ヨガ、3B体操、軽スポーツ、ペタンク、和太鼓、雪合戦、ストリートダンス
- ② 事業：スポーツあそびフェスタ、マリン1日体験教室、トレッキング、U-49 スポーツ教室、うらじゃへの参加など

#### 4 スポーツ大会の開催状況

市教育委員会は、スポーツ及び交流の促進を目的として、市マラソン大会、市民体育祭、ナイターソフトボール大会、ナイターペタンク大会、フットサル大会等を開催しています。

また、スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型スポーツクラブなどのスポーツ関係団体も各種大会を開催しています。

市教育委員会主催の主要大会参加者数（令和元年度）

市マラソン大会	1,093人
市民体育祭（3大会合計）	3,900人
ナイターソフトボール大会	120人
ナイターペタンク大会	67人
フットサル大会	248人

#### 5 浅口市スポーツ振興基本計画の振り返り

平成22年3月に策定された「浅口市スポーツ振興基本計画」での、達成状況を振り返り、今後に向けての課題を検討しました。



(1) スポーツ環境の整備充実

① 生涯スポーツ社会の実現に向けた事業推進	方 策	ア) 各種スポーツ団体の活性化と関係部局との連携強化
	達 成 状 況	<p>スポーツ協会は設立15周年を迎え13種目の専門部、スポーツ少年団は26団体が所属し、現在会員数は1,340名です。令和元年度の専門部・スポーツ少年団の主催大会数は約90大会となるなど、積極的に各種スポーツ事業を展開しました。</p> <p>健康福祉部局や社会福祉協議会等との連携も必要に応じて行いました。</p>
	課 題	各団体とも指導者の高齢化や多種多様なニーズにどう対応していくかが課題です。また、関係部局との連携を密にすることにより、幅広い事業を実施していく必要があります。
	方 策	イ) スポーツ機会の提供
	達 成 状 況	<p>スポーツ教室として水泳教室や硬式テニス教室を開催し、また、市民体育祭、市マラソン大会をはじめとした各種大会を市民が参加しやすいように工夫して開催しました。また、市民体育祭については、地域ごとに大会を開催し、それぞれの大会で参加者や係員の負担を軽減するために種目等の実施方法を見直し、新たな風を取り入れました。</p>
	課 題	市民体育祭は、スポーツの推進だけでなく、住民相互の親睦、交流も目的とした大会であり意義のある大会と評価される一方で、大会が負担に感じられるといった声もあり、誰もが参加しやすいように引き続き実施方法を工夫していく必要があります。
② 総合型地域	方 策	ア) 総合型地域スポーツクラブについての市民への普及啓発
	達 成 状 況	<p>総合型スポーツクラブは、平成25年度に「NPO法人あさくちスポーツクラブ遊ぶところ」となり、ヨガ・3B体操・雪合戦等、年間を通して多くの教室を主催し、また、あそびフェスタなど参加者が楽しめるイベントを開催することで、徐々にクラブの知名度を上げ、活動を広げていきました。現在は約200人の会員が所属しています。</p>

スポーツクラブの育成	課 題	会員や参加者数が横ばいの状況が続いており、独立したホームページの開設やSNSを活用する等、新規会員や参加者数を増やすため、時代に即した広報展開を行う必要があります。
	方 策	イ) 総合型地域スポーツクラブの活動拠点となる公共スポーツ施設の充実
	達 成 状 況	総合型地域スポーツクラブの交流拠点として、天草公園体育館を中心に活動しました。体育館は、耐震化改修工事やトイレの洋式化、網戸の設置を行い、各種教室やイベントに安心して参加し、快適に活動できる環境づくりを進めました。
	課 題	今後とも市内の施設を有効活用して、活動を活性化することが求められます。
	方 策	ウ) 総合型地域スポーツクラブに必要な人材の育成
	達 成 状 況	総合型スポーツクラブの人材育成やクラブ経営に関係した情報を継続的に提供しました。また、円滑な運営が行なえるように教育委員会とクラブが連携して、双方が協力の下に事業に取り組みました。
	課 題	多種多様なニーズと時代の変化を意識しながら、それに対応できる人材の確保と育成が必要です。また、NPO 法人として更なる自主性を育んでいく必要があります。
③ スポーツ情報の提供と利用しやすい	方 策	ア) ホームページや広報誌の掲載内容の充実
	達 成 状 況	市のホームページでは、現在各種施設の情報を中心に掲示しており、常に最新の情報を発信するように努めました。 市報には毎月大会募集記事を掲載し、全国大会等に市民が出場した際は、激励会等の記事を掲載しました。さらに、甲子園出場や国際大会などへの出場時は、市役所や支所に懸垂幕を掲示し、市民に周知を行いました。
	課 題	インターネットを活用した情報提供は益々重要になっており、市民のニーズに応じた遅延のない情報提供や、興味を持ってもらうために情報提供方法を創意工夫していく必要があります。

システムづくり	方 策	イ) 施設予約システムの構築
	達 成 状 況	先進地視察を行うなど検討を進めましたが、費用対効果の面から導入には至っていません。
	課 題	費用面や予約受付箇所のインターネット環境の整備等に課題があり、導入する際はそれらを慎重に検討する必要があります。
④ 学校体育・スポーツの充実	方 策	・学校と地域の連携強化
	達 成 状 況	地域の指導者が経験を活かし、部活動指導者として生徒のスポーツに関する多様なニーズに答えました。寄島中学校ではバレーボール部の指導、鴨方中学校では剣道部とバスケットボール部の指導実績があり、また、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブが市内小学校の学童保育と連携し、ニュースポーツの普及啓発に努めました。
	課 題	部活動への外部指導者導入をさらに進めるためには、学校のニーズを把握し、地域と繋げるコーディネーターの確保が必要です。

## (2) スポーツ施設の整備充実

① スポーツ施設の充実	方 策	ア) スポーツ拠点施設の整備・充実
	達 成 状 況	<p>・主なものは次のとおりです。</p> <p>平成22年度 金光スポーツ公園テニスコートにヒサシの設置</p> <p>平成23年度 天草公園に児童用遊具が中心のロケット広場を設置、天草公園野球場北の駐車場を整備</p> <p>平成25年度 天草公園に幼児用の水遊び場としてジャブジャブ池を設置</p> <p>平成28年度 天草公園体育館耐震化工事、トイレ改修を実施 寄島B&amp;G海洋センタープールの上屋改修を実施</p> <p>平成30年度 フットサル場人工芝張替を実施 天草公園体育館アリーナに網戸を設置</p>
	課 題	災害時の避難所としての利用も含め、誰もが利用しやすい施設として修繕・改修を行うことやより快適に市民が利用できるように、バリアフリー化や冷暖房設備の設置等を検討する必要があります。

① スポーツ施設の充実	方 策	イ) 既存スポーツ施設の有効活用
	達 成 状 況	<p>金光スポーツ公園、天草公園、三ツ山スポーツ公園等、市内に複数のスポーツ施設があることから、それぞれの趣味嗜好に合ったスポーツに親しむ環境が整備され、多くの方が利用されました。</p> <p>また、市民体育祭や市マラソン大会等については、広報紙やチラシの配布等により施設利用の向上に努めました。</p>
	課 題	<p>有効活用をしていく上で既存施設の老朽化を把握し、早期の修繕・改修に努めていく必要があります。また、積極的な事業展開と周知徹底を図ることにより、多くの方にスポーツをする機会を提供していく必要があります。</p>
② 学校体育施設の開放	方 策	・学校体育施設の有効活用と市民への周知
	達 成 状 況	<p>市内学校体育施設利用件数及び利用人数は、令和元年度は2,664件の76,843人となり多くの利用者はいますが、地域別で見ると鴨方は増加傾向、金光と寄島は減少傾向となり、全体の合計も減少傾向でした。</p> <p>なお、利用に関する苦情等課題があれば、利用者への指導等を行うなど、利用者・学校・周辺住民等にとって、適切な学校開放が維持できるよう努めました。</p>
	課 題	<p>学校体育施設が適切に利用されるように、より丁寧な周知と関係者相互の情報共有を密にする必要があります。</p>

### (3) スポーツ指導者の確保と質の向上

方 策	ア) スポーツ指導員の養成・確保
達 成 状 況	<p>岡山県スポーツ協会等の研修会情報を、スポーツ指導者であるスポーツ推進委員及びスポーツ少年団指導者等に提供しました。</p> <p>平成26年度にはスポーツ推進委員備南支部研修会を浅口市で開催し、ラダーゲッターと長縄の研修会を行いました。また、平成28年度・平成29年度に青少年の健全育成に関わる県及び備中県民局管内の</p>

達成状況	研修会を開催した際には、多くのスポーツ関係者が参加されることから、講師に全国的に有名な野球指導者や陸上競技日本記録保持者を招き、指導者の質の向上を図りました。
課題	指導者の高齢化に伴い、新たな指導者の発掘と多様化するスポーツに 適応できる知識の習得とスポーツ少年団指導者の資格者制度の変更に対応するため、よりきめ細やかな情報提供が必要です。
方策	イ) 体育指導委員の資質の向上 ※平成24年度に体育指導員からスポーツ推進委員へ名称変更
達成状況	スポーツ推進委員の研修は毎年、国・中国ブロック・県・備南支部と各段階で開催されており、推進委員が参加しやすいよう事務局が会場まで送迎するなどの支援を行いました。 また、放課後子ども教室でラダーゲッターやペタンク等のニュースポーツの指導を行いました。
課題	スポーツ推進委員の高齢化に伴う新たな人材確保が課題です。また、年間計画を決め、取り組むべき方向性や委員相互の目標設定、重点課題など、計画性をもった組織の確立が必要です。



市マラソン大会



市民体育祭金光大会

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

第2次浅口市総合計画では、浅口市の将来像を「キラリと光る未来そうそうワクワク都市」とし、これを実現するための政策の1つとしてスポーツ活動の推進を図ることとしています。

本計画は、国、県の計画及び第2次浅口市総合計画の内容と整合を図りながら、市のスポーツに関する課題を解決するためのスポーツ施策を展開することが必要となります。

このことから本計画では、スポーツの持つ力により、市民一人ひとりが心身ともに健康で生き生きと自分らしく暮らすまちの実現を目指して、「スポーツで創ろうみんなの笑顔☆キラリと光る元気なあさくち」を基本理念と設定し、実現に向けて取り組んでいきます。

## 基本理念

スポーツで創ろうみんなの笑顔☆キラリと光る元気なあさくち

### 2 基本施策

基本理念の実現に向けて次の3つを基本施策と定め、それぞれの取り組みを進めます。

#### (1) 生涯スポーツの推進

市民の誰もが生きがいを持ち、健康増進や友人や知人との交流を目的にスポーツに親しむことは重要です。

「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる」という生涯スポーツ社会の実現に向けて各種事業の実施と体制の構築に取り組みます。

## (2) 競技スポーツの推進

競技スポーツは、スポーツ技術や記録の向上を目指し、人間の極限への挑戦を追求する選手のスポーツで、観る者にスポーツの楽しさと感動を与える魅力があり、スポーツへの関心を高める原動力として重要です。

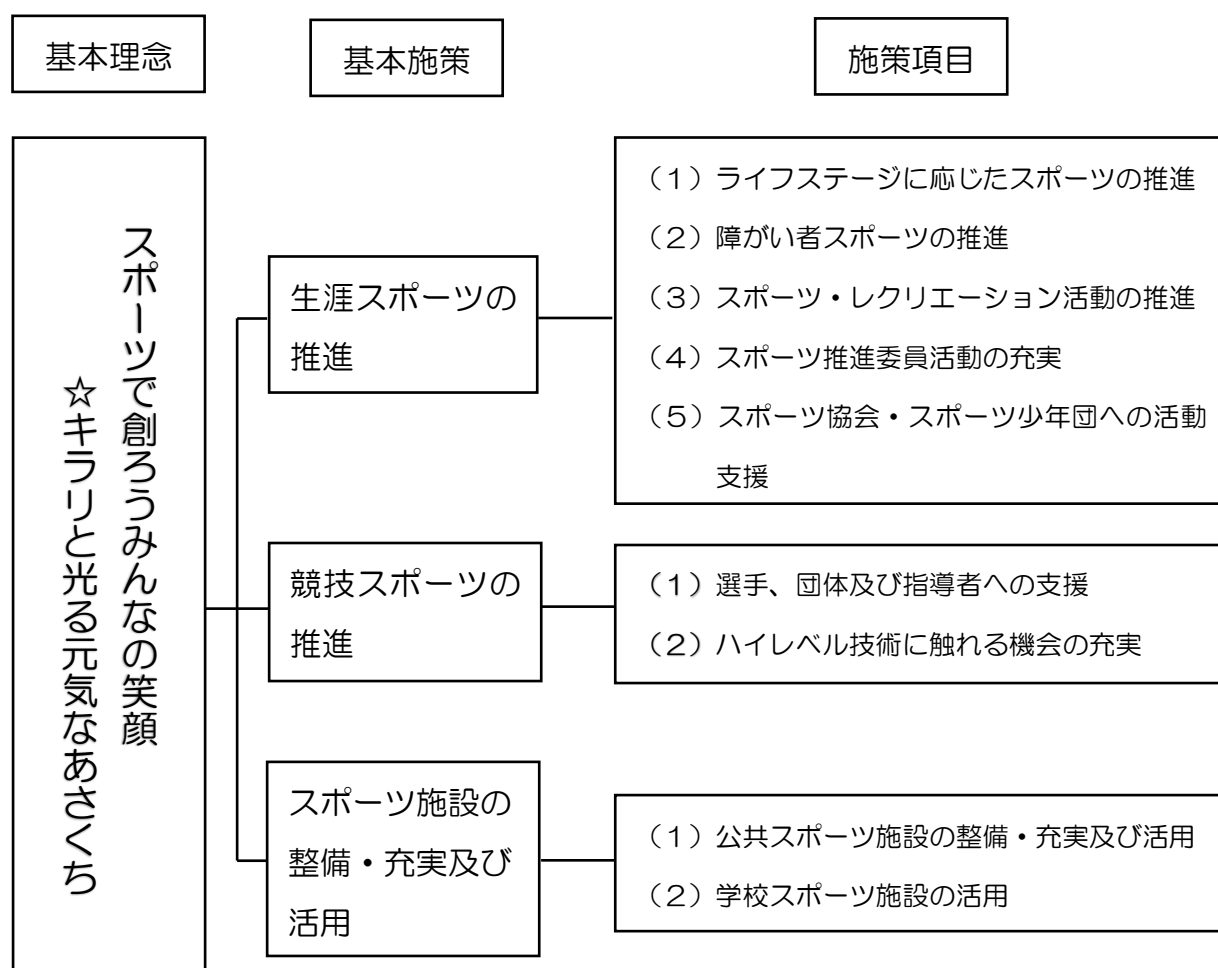
市スポーツ協会等の関係団体と連携し、優れた競技者の育成及びそれを支える指導体制づくりに取り組めます。

## (3) スポーツ施設の整備・充実及び活用

市民が、いつでも気軽に安心・安全にスポーツを楽しむためには、スポーツ施設が身近に存在することが重要です。

既存施設の維持管理、計画的な修繕・改修及び施設等の充実を図ることでより一層の有効活用に取り組めます。

## 3 施策体系



## 第4章 施策項目

### 1 生涯スポーツの推進

#### (1) ライフステージに応じたスポーツの推進

幼少期・少年期からスポーツに親しむことは、体の基礎や体力・運動能力向上につながるだけでなく、集団活動等を通じて規律や協調性を育み、身体的にも精神的にも成長を促す重要なことです。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① 幼児期から道具遊び等を通じて発育・発達の特性に応じた運動支援
- ② 中学校の部活動における学校と地域指導者とのコーディネート及び休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
- ③ スポーツ少年団活動の情報発信や勧誘促進による各団の活性化

青年期・壮年期になると学業や仕事、子育て等で多忙な中でもスポーツに親しむ機会が持てる取り組みが大切になることから、この時期は親子や家族と一緒に運動を行うことで絆を深めることもスポーツの目的になります。

また、高齢者にとってのスポーツは、心身の健康の維持・増進につながり、生きがいづくり、仲間づくりにも寄与する重要な活動です。年齢・体力に応じて気軽に参加できる運動教室や軽スポーツの普及を図る必要があることから、関係部局との連携を進めます。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① 休日に初めてでも参加できる体験型のスポーツ教室の実施
- ② 親子や家族で気軽に参加できる運動教室の実施
- ③ 老人クラブ等の高齢者団体及び関係部局との連携

#### (2) 障がい者スポーツの推進

障がいのある人にとってスポーツは、障がいの程度の維持や改善、健康推進だけでなく、障がい者の自立や社会参加促進といった側面もあり、自己実現や生活の質向上に有益な活動です。

しかし、今回のアンケートの結果では、障がい者スポーツへの関心が低いことから、今後、障がい者スポーツについての啓発及び情報発信を行い、障がいのある人がスポーツをする機会の創出と障がい者を支える人材の養成及



び活用が必要になります。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① 障がい者スポーツに関する講演会や体験会の実施
- ② 誰もが安心して利用できるよう施設のバリアフリー化
- ③ 関係機関と連携を図り、専門的な知識と指導力をもつ指導者の育成

### (3) スポーツ・レクリエーション活動の推進

スポーツやレクリエーションを行うことは、世代や地域を超えての親睦や交流に繋がり、市全体の活性化に重要な役割を果たしています。

また、市マラソン大会等のイベントは、市外からも多数の参加者があり、市の魅力発信に寄与しています。

なお、市民体育祭については、今回のアンケートで「参加して楽しかった」、「地域の人や知人と交流できた」との意見があった一方、「係員・世話役が大変だった」、「選手として負担に感じた」という意見があり、誰もが参加しやすい大会になるよう実施方法に工夫が必要です。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① アンケート結果を踏まえた体験教室や各種大会等の実施
- ② 市外者と交流できる各種大会の実施
- ③ ニュースポーツの普及啓発のため体験教室の開催及び用品の購入
- ④ 広報紙、インターネット等を活用したスポーツの情報発信
- ⑤ 誰もが参加しやすい市民体育祭になるよう実行委員会での検討

### (4) スポーツ推進委員活動の充実

浅口市スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき、市のスポーツ推進のため実技指導、組織の育成、教育機関や関係団体への協力、事業への指導助言を行うことを目的として市から委嘱を受けています。令和2年4月現在で28名が活動しています。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① 岡山県等が実施する各種研修への参加
- ② スポーツ推進委員の高齢化に伴う新たな人材確保
- ③ スポーツ推進委員が主体となったスポーツ推進活動
- ④ スポーツ推進委員の認知度向上

## (5) スポーツ協会・スポーツ少年団への活動支援

浅口市スポーツ協会には、下部組織として浅口市スポーツ少年団も含まれており、市民が気軽にスポーツやレクリエーションに親しむ機会として、様々な大会やスポーツ教室を開催するほか、教育委員会と連携を図りながら各種事業を実施しています。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① スポーツ協会の運営への補助や会場の確保等の支援
- ② スポーツ少年団の運営・指導者への補助や会場の確保等の支援

## (6) 総合型地域スポーツクラブへの活動支援

総合型地域スポーツクラブは、誰もが行いたいスポーツを自由に選択し、各種教室やイベントなどいろいろな形で楽しむことのできる身近な場です。総合型スポーツクラブの積極的な活動は、地域住民のスポーツの参加機会を増やし、世代を超えた交流を活性化させる効果が期待できます。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① 総合型地域スポーツクラブ活動への助言、研修機会の提供等の活動支援
- ② 総合型地域スポーツクラブへの広報活動の協力

## 2 競技スポーツの推進

### (1) 選手、団体及び指導者への支援

競技スポーツは、観る人に感動と勇気を与え、スポーツへの関心を高めるとともに、優れた選手の出現は、地域の人々に誇りと自信を与える効果があります。しかしながら、競技選手を育成するためには、指導者からの適切な指導、日々の練習や各種大会出場等、多額の費用が必要になります。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① 全国大会や国際大会出場者への激励金の交付
- ② 優秀な成績を収めた個人、団体や指導者に対する広報活動
- ③ 他団体を招待する大会でのスポーツ協会、スポーツ少年団への補助
- ④ スポーツ推進委員やスポーツ少年団指導者に対する指導者研修会参加
- ⑤ スポーツ推進委員等に対する表彰

## (2) ハイレベル技術に触れる機会の充実

ハイレベルな技術を持った選手やチーム等から直接指導を受けることや、本格的なプロやアマチュアの試合を身近で観ることは、競技レベルの向上につながります。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① 元プロ選手やその指導者、トップチームによる実技指導や交流大会の開催
- ② 元プロ選手やその指導者による講演会の開催

## 3 スポーツ施設の整備・充実及び活用

### (1) 公共スポーツ施設の整備・充実及び活用

公共スポーツ施設には、利便性の向上と誰でも安全・安心・快適に利用できるように計画的な修繕・改修が大切です。

このことから、次のことに取り組みます。

- ① 情報提供体制及び施設予約システム導入の検討
- ② 受付・管理体制の外部委託の推進と指定管理制度の導入検討

### (2) 学校スポーツ施設の活用

市内公立小・中学校の運動場・体育館は、利用条件を満たした団体への一般開放を実施しており、スポーツ少年団や団体等が利用しています。今後も身近なスポーツ施設として有効に活用することに努めます。

## 第5章 計画の推進と進行管理

### 1 計画の推進

本計画に定める「スポーツで創ろうみんなの笑顔☆キラリと光る元気なあさくち」の基本理念の実現に向けて、市民・スポーツ関係団体・行政などが連携・協働を図り、それぞれが主体的にスポーツ推進の担い手となって取り組むことが重要です。それぞれの主体に期待される役割を次に示します。

### (1) 市民

市民には、スポーツ推進の主力として、自身のライフステージや体力を踏まえて、「する」「みる」「ささえる」の観点から自分に適したスポーツの楽しみ方を見つけ、主体的にスポーツを楽しむことが期待されます。そして、スポーツ活動を通して、絆づくり・まちづくりの原動力になることも求められます。また、これまでスポーツをしていなかった市民に対しては、スポーツの持つ価値や意義を理解し、積極的にスポーツに関わっていくことが求められます。

### (2) スポーツ関係団体

市内には、スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等の各種スポーツ団体があります。スポーツ団体には、自立した運営のもと、多くの市民が自身の志向に応じて定期的かつ継続的に活動する場としての役割と、市民の交流拠点としての役割が期待されます。

### (3) 行政

行政は、本計画で定めた基本理念の実現に向けて、スポーツに関する市民ニーズを的確に把握・分析し、市民・スポーツ関係団体・地域・学校と更なる連携を図り、スポーツ活動の推進に必要な事業を実施します。

## 2 進行管理

本計画で体系化した施策・取り組みが適切に実施できているかどうか、毎年進捗状況を確認し、評価・検証します。

また、スポーツ環境の変化等に対応するため、必要に応じて見直しを行います。



市民体育祭鴨方大会



市民体育祭寄島大会

# アンケート調査結果

## 1 アンケート概要

### (1) 目的

市民の意見・要望をお聞きし、浅口市スポーツ推進計画の基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

### (2) 名称

浅口市のスポーツに関するアンケート調査

### (3) 調査対象者

市内に在住する16歳～70歳の男女

### (4) 発送数

1,000名

### (5) 抽出方法

年齢構成を背景とした無作為抽出（金光、鴨方、寄島地域の人口割）

### (6) 調査方法

郵送配布・郵送回収

### (7) 調査期間

令和2年9月4日～9月30日

### (8) 回収数及び率

473通（有効回答数473通）、47.3%

## 2 調査結果の処理

(1) 回答比率は、百分率（%）で表し、小数点以下を四捨五入し算出していますので、合計が100%にならないこともあります。

(2) 複数回答の設問では、回答比率が100%を超える場合があります。

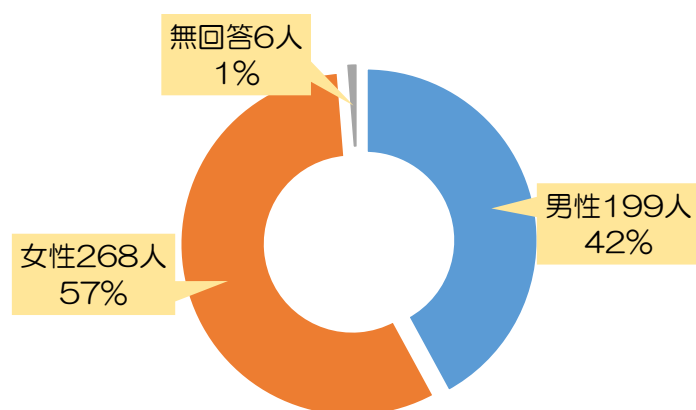
### 3 アンケート項目及び結果

#### I あなた自身（回答者）のことについて

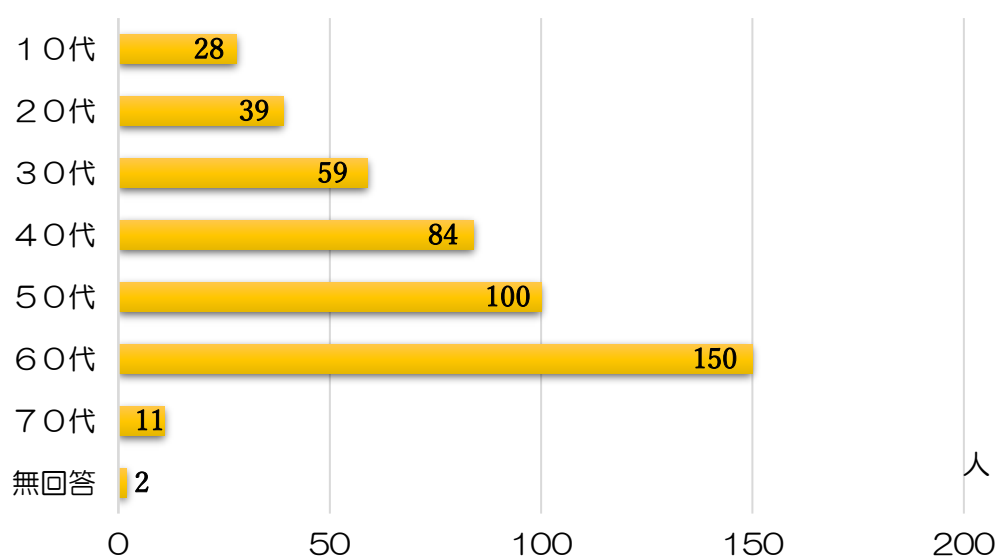
回答のあった473名の属性は、以下のとおりです。

- 男性が約42%、女性が約57%でした。
- 10～40歳代が約44%、50歳代以上が約56%でした。
- 金光町が33%、鴨方町が約51%、寄島町が約12%でした。

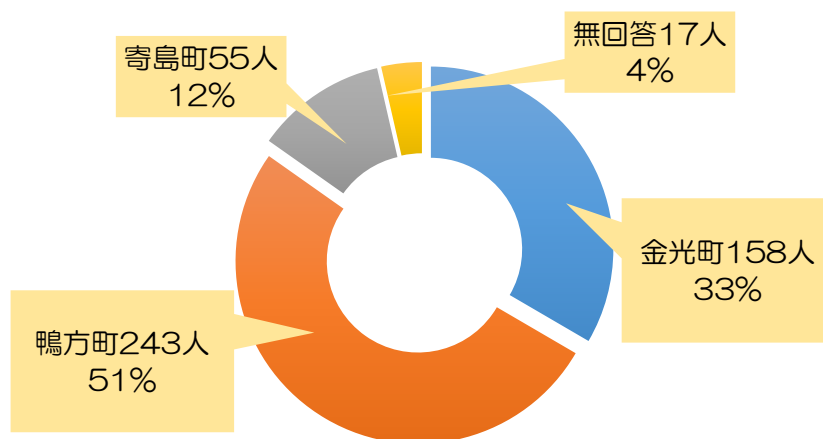
#### 問1 性別



#### 問2 年代



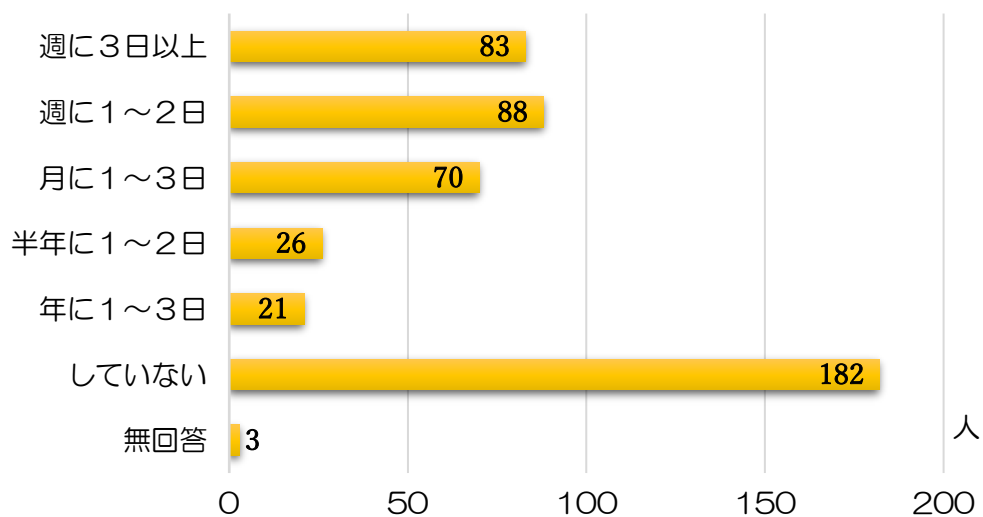
問3 居住地



Ⅱ スポーツの実施状況について

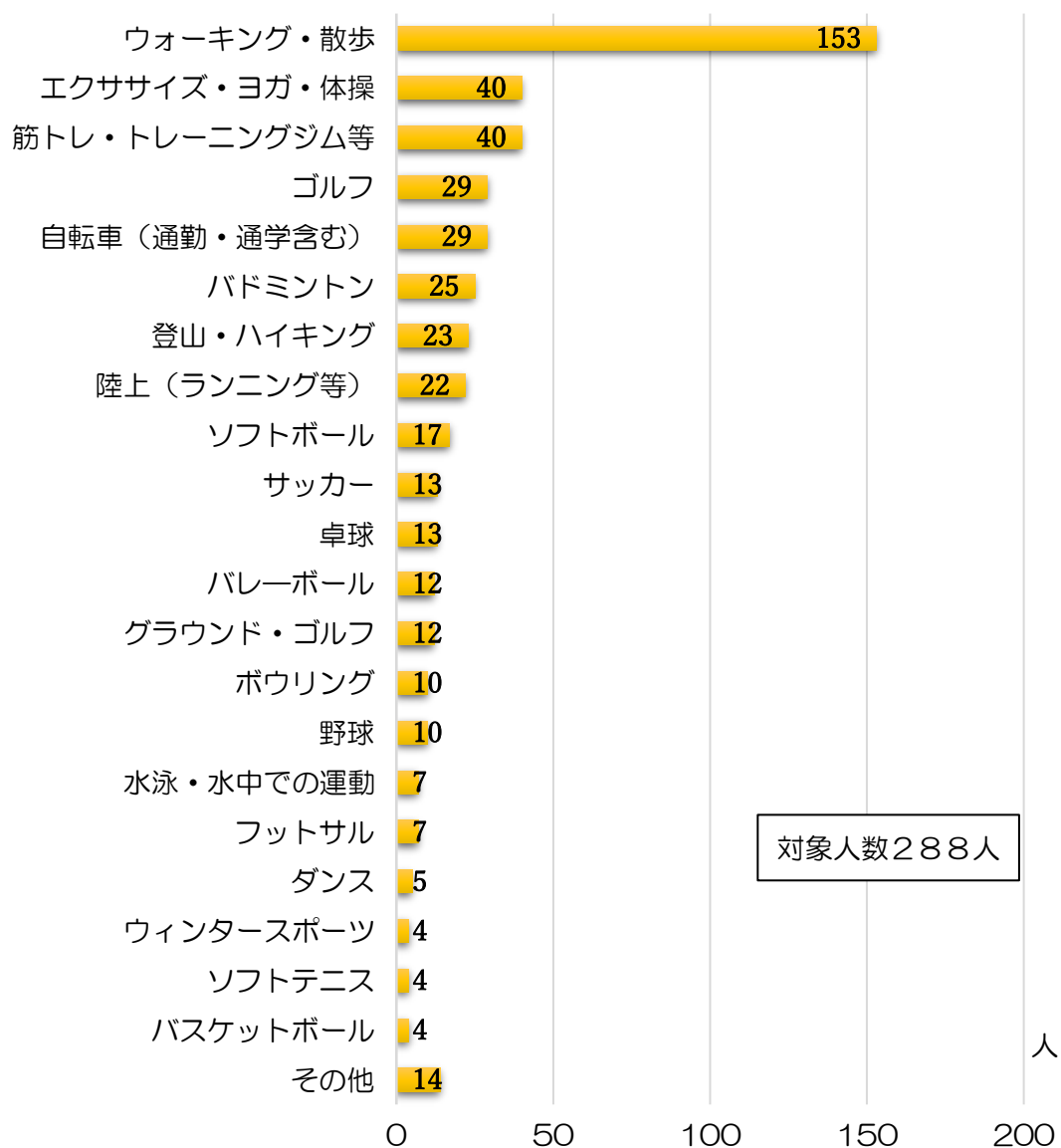
問4 あなたは、この1年間にどのくらいスポーツをしましたか？（回答は1つ）

「週に3日以上」と「週に1～2日」を合わせると定期的にスポーツをしている人は約36%、「月に1～3日」、「半年に1～2日」、「年に1～3日」と時々スポーツをしている人は約25%、スポーツをしていない人が約38%となりました。



問4-2 問4でスポーツを「している」とお答えになった方にお聞きします。あなたが、この1年間にしたスポーツは何ですか？（回答は3つまで）

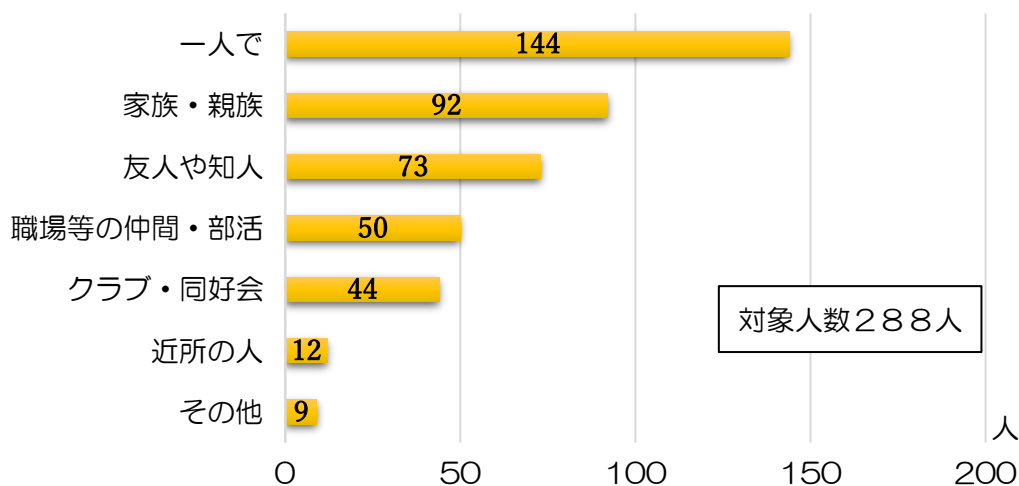
人気種目の上位は、①ウォーキング・散歩、②エクササイズ・ヨガ・体操、③筋トレ・トレーニングジム等、④ゴルフ、⑤自転車（通勤・通学含む）となりました。





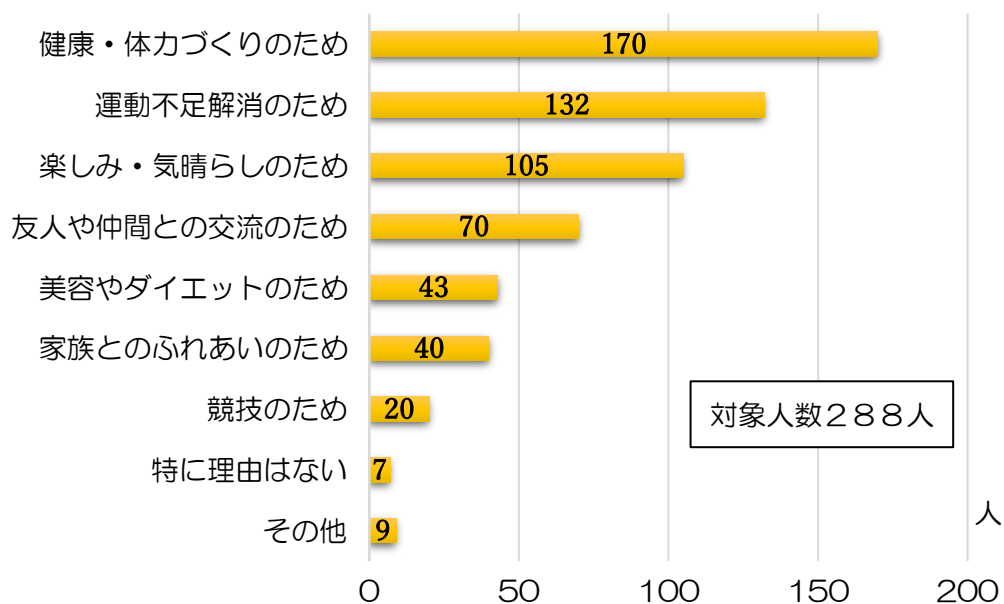
問4-3 問4でスポーツを「している」とお答えになった方にお聞きします。あなたは、主に誰とスポーツをしましたか？（複数回答可能）

「一人で」が一番多いものの、家族や友人など身近な人と一緒にスポーツをしているとの回答も多くありました。



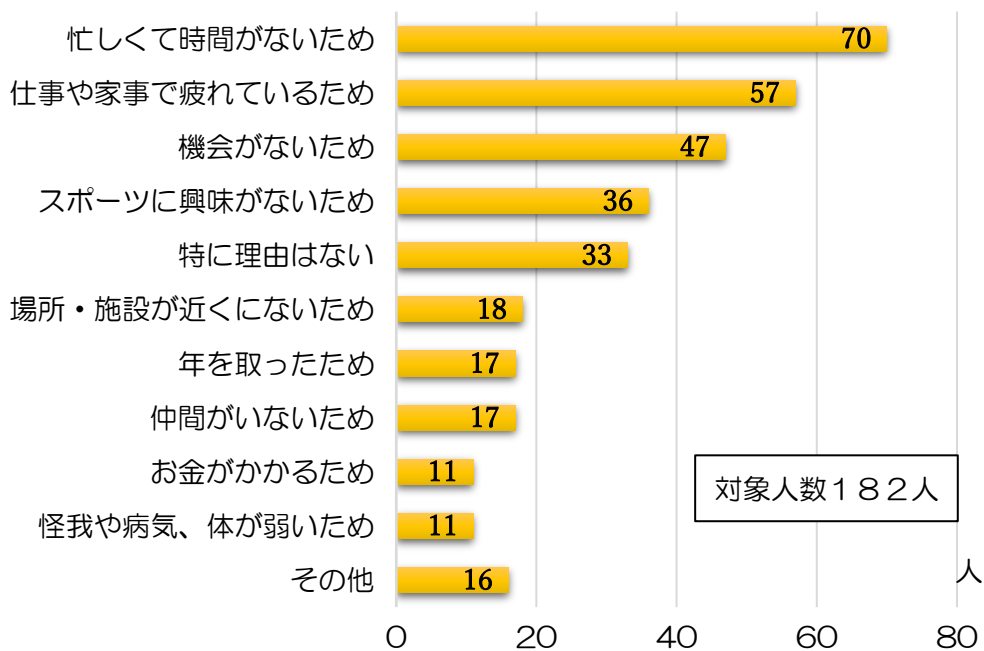
問4-4 問4でスポーツを「している」とお答えになった方にお聞きします。スポーツをした理由は何ですか？（回答は3つまで）

「健康・体力づくりのため」、「運動不足解消のため」といった健康面での理由が最も多く、続いて「楽しみ・気晴らしのため」、「友人や仲間との交流のため」といった楽しみや交流に関する回答が多くありました。



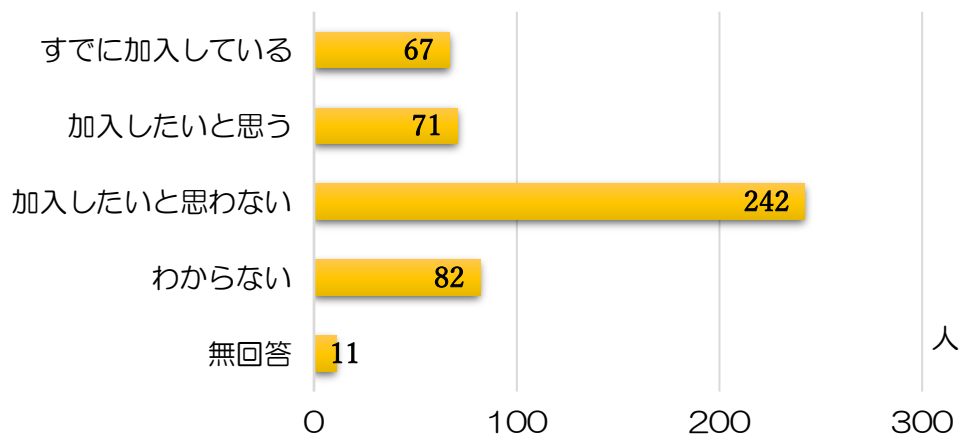
問4-5 問4でスポーツを「していない」とお答えになった方にお聞きします。スポーツをしなかった理由は何ですか？（回答は3つまで）

「忙しくて時間がないため」、「仕事や家事で疲れているため」といった余暇・余裕が少ないためという回答が多くありました。また、「機会がないため」という回答も多く、機会提供の必要があることが示されました。



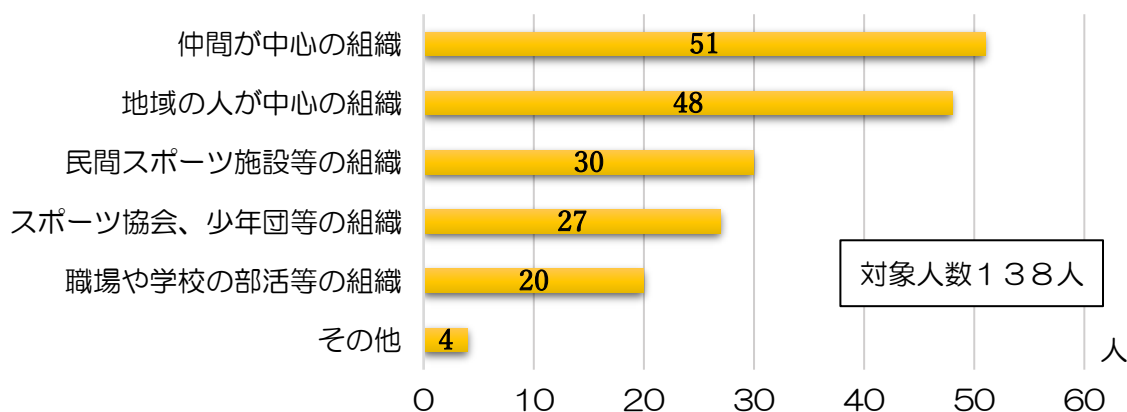
問5 あなたは、スポーツクラブやチーム、同好会などの団体に加入したいと思いますか？（回答は1つ）

「すでに加入している」は約14%、「加入したいと思う」は約15%となり、合わせて約3割でしたが、半数の人が「加入したいと思わない」と回答されました。



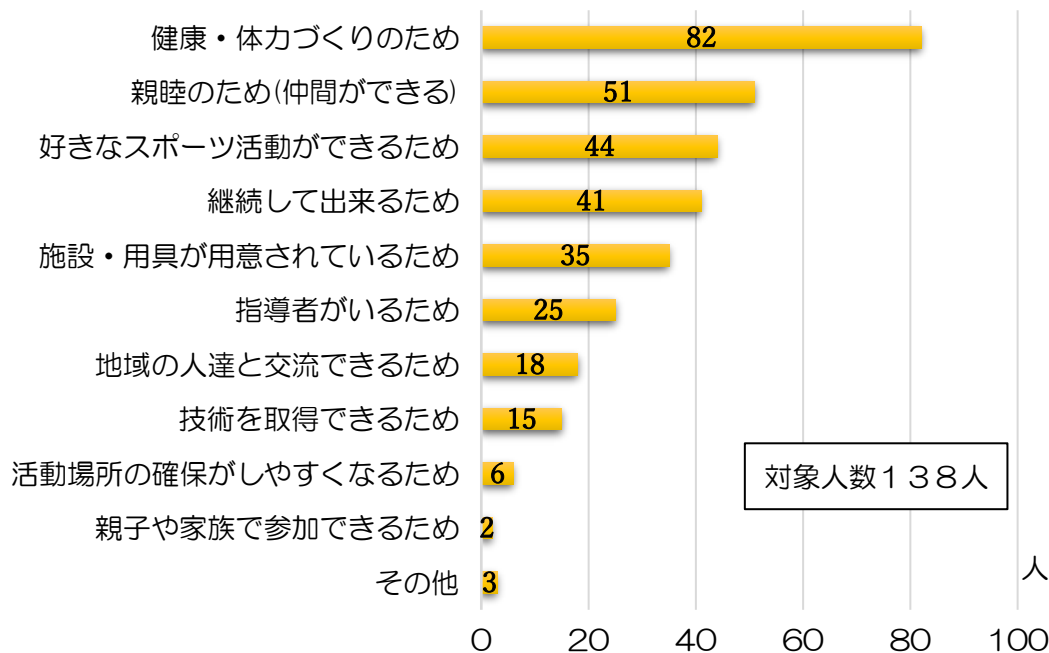
問5-2 問5でクラブ・同好会に「すでに加入している」「加入したいと思う」とお答えになった方にお聞きします。それは、どのようなクラブ・同好会などですか？（複数回答可能）

多い順から「仲間が中心の組織」、「地域の人を中心の組織」、「民間スポーツ施設等の組織」、「スポーツ協会、少年団等の組織」、「職場や学校の部活等の組織」となりました。



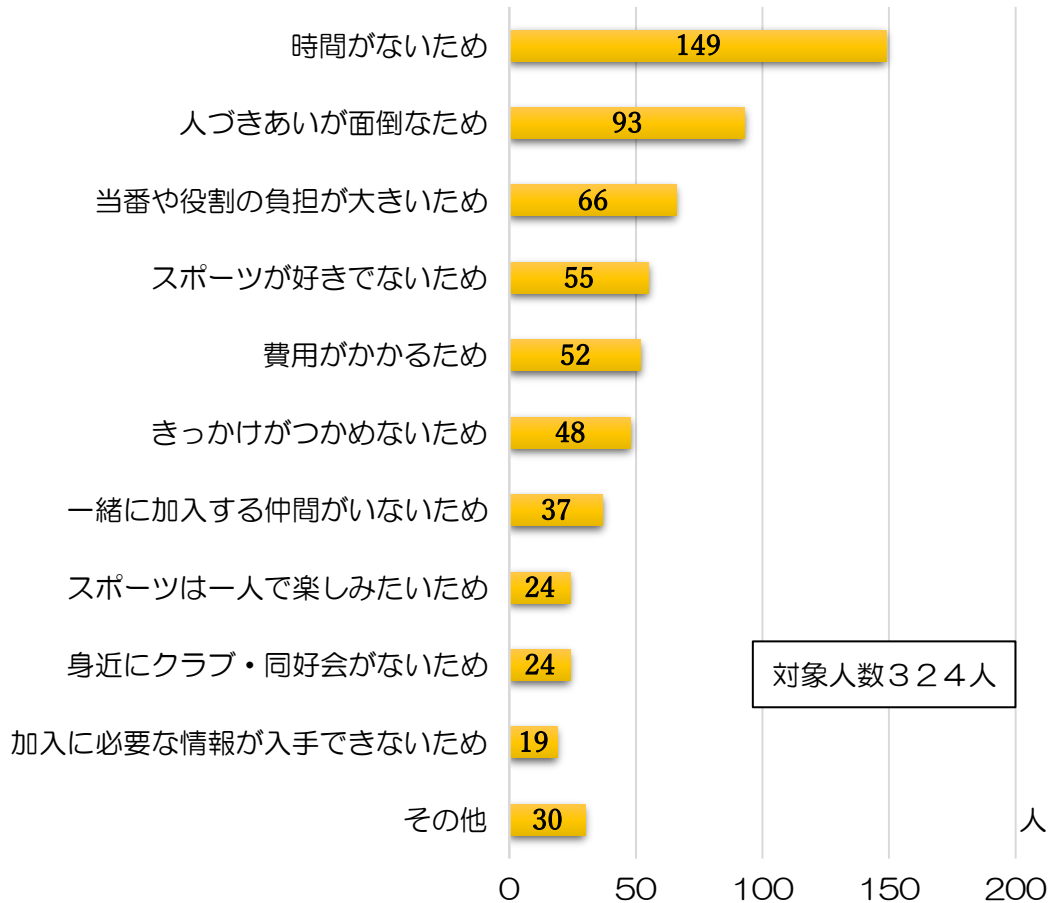
問5-3 問5でクラブ・同好会に「すでに加入している」「加入したいと思う」とお答えになった方にお聞きします。そのクラブ・同好会に加入した（したいと思う）動機は何ですか？（回答は3つまで）

「健康・体力づくりのため」が最も多く、次いで「親睦のため（仲間ができる）」、「好きなスポーツ活動ができるため」と続き、多くの人が複数の動機でクラブ・同好会に加入していることが示されました。



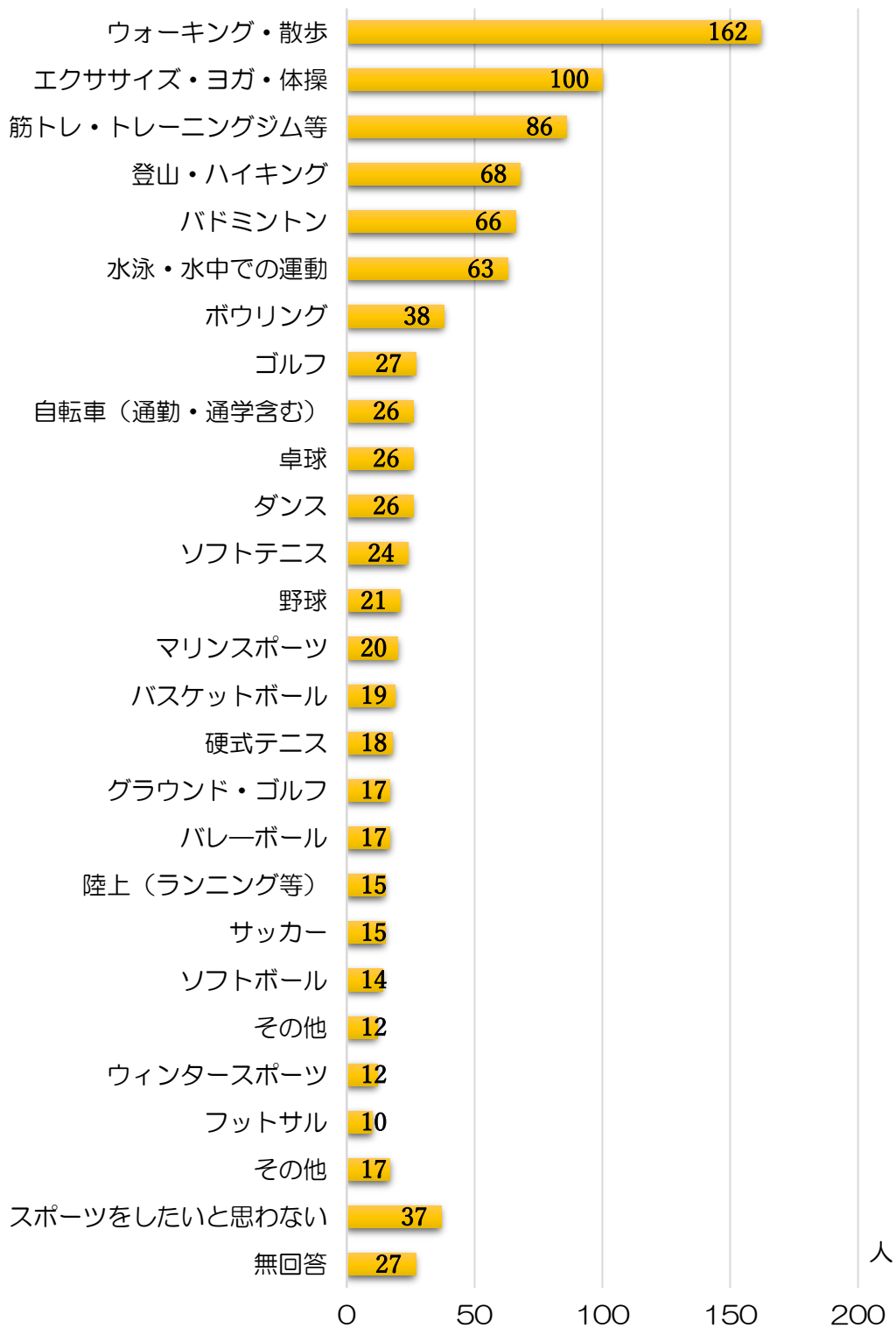
問5-4 問5でクラブ・同好会に「加入したいと思わない」「わからない」とお答えになった方にお聞きします。加入したいと思わない理由は何ですか？  
(回答は3つまで)

「時間がないため」が最も多く、次いで「人づきあいが面倒なため」、「当番や役割の負担が大きい」など、様々な回答がありました



問6 あなたが、今後したいスポーツは何ですか？（回答は3つまで）

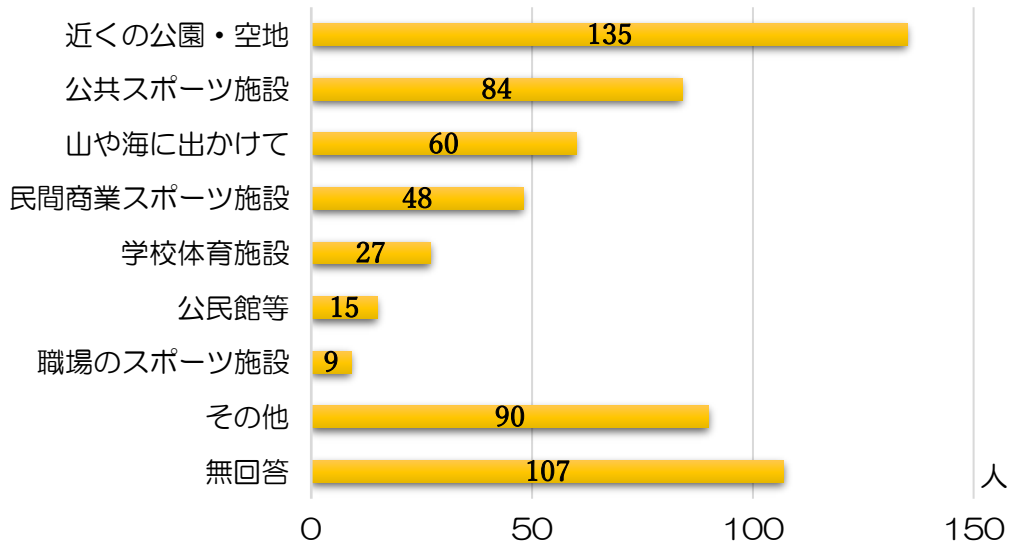
人気種目の上位は、①ウォーキング・散歩、②エクササイズ・ヨガ・体操、③筋トレ・トレーニングジム等、④登山・ハイキング、⑤バドミントンとなり、少人数で行える種目に人気があり、多くの方が何らかのスポーツを行いたいと考えていることが示されました。



### Ⅲ 施設及び市のスポーツ事業について

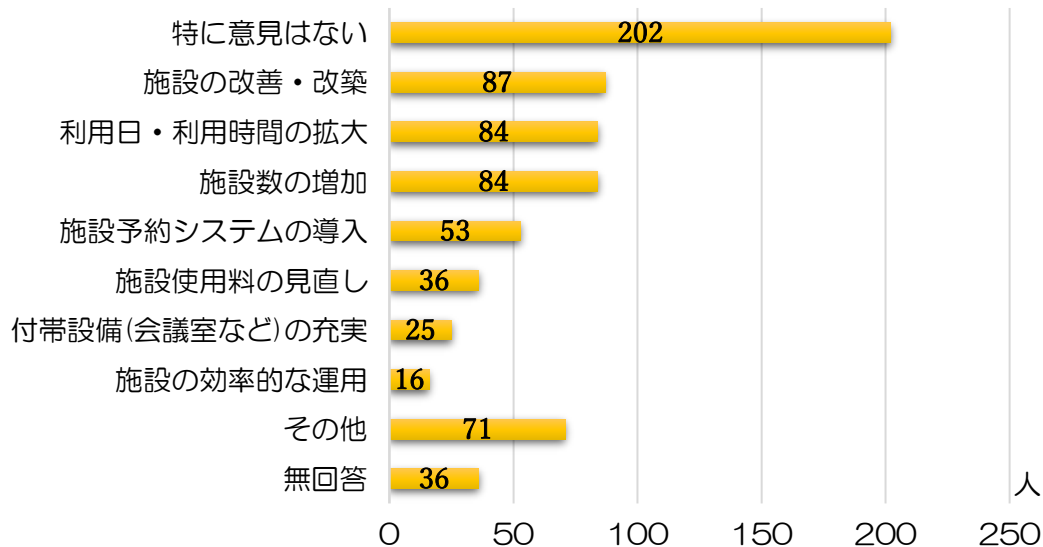
問7 あなたは、どこでスポーツをしていますか？（複数回答可能）

「近くの公園・空地」が最も多く、次いで「公共スポーツ施設」「山や海に出かけて」が続きました。また、その他には「自宅」「自宅周辺」など身近な場所の回答が多く寄せられました。



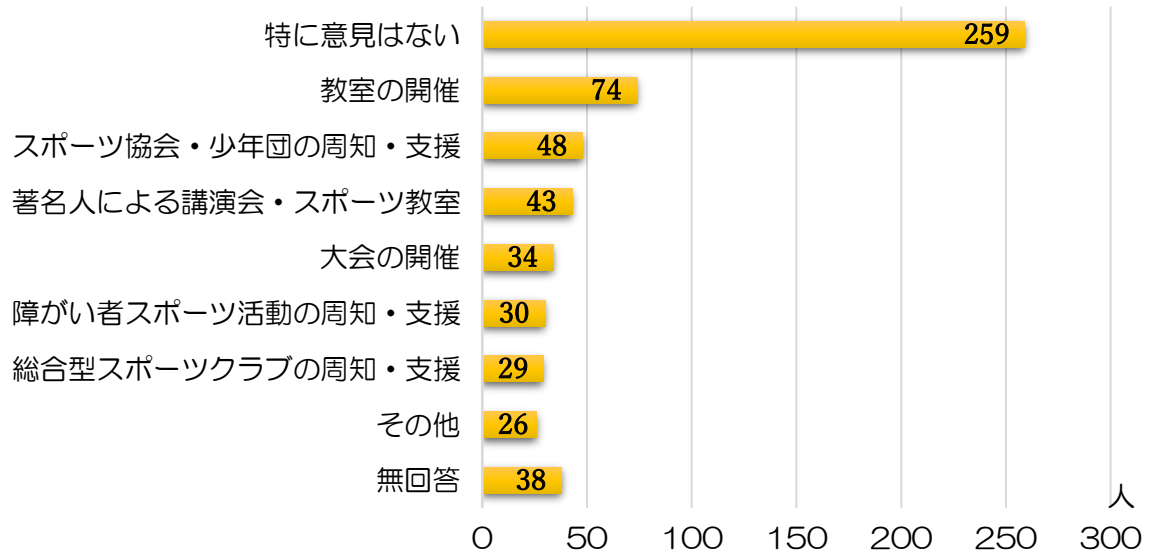
問8 あなたが、市内の公共スポーツ施設に望むことを教えてください。また、希望する施設や改善点がありましたら、自由記述欄へ具体的にご記入ください。（複数回答可能）

「特に意見はない」との回答が一番多く、現状で一定の満足が得られている一方で、「施設の改善・改築」「利用日・利用時間の拡大」など、改善を望む声も多く寄せられました。また、その他の意見としてエアコンの設置やジム、温水プール新設の要望がありました。



問9 あなたが、市のスポーツ事業で望むことはどんなことですか？また、希望する大会・教室、著名人による講演会・スポーツ教室などがありましたら、自由記述欄へ具体的にご記入ください。（回答は3つまで）

「特に意見はない」との回答が一番多く、次いで「教室の開催」「スポーツ協会・少年団の周知・支援」「著名人による講演会・スポーツ教室」と続きました。また、その他の意見としても、より具体的講師名をあげての「教室の開催」や「著名人による講演会・スポーツ教室」の開催を希望する声がありました。

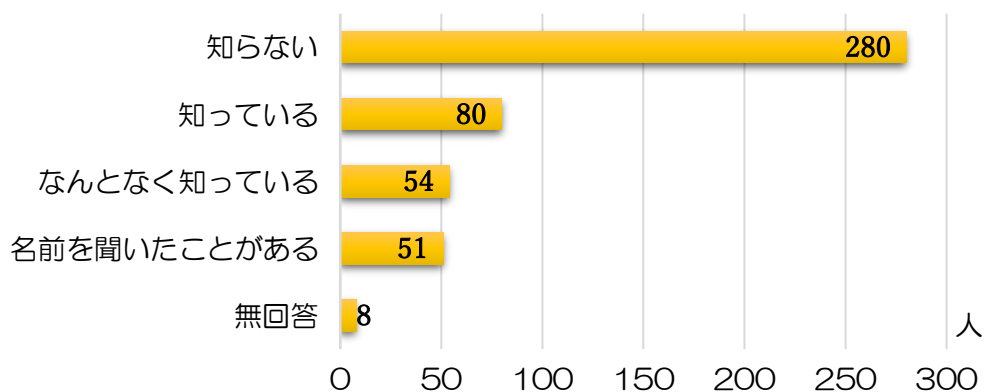


#### Ⅳ 総合型地域スポーツクラブについて

問10 あなたは、市内にある総合型地域スポーツクラブ「NPO法人あさくちスポーツクラブ遊ぶところ」をご存知ですか？（回答は1つ）

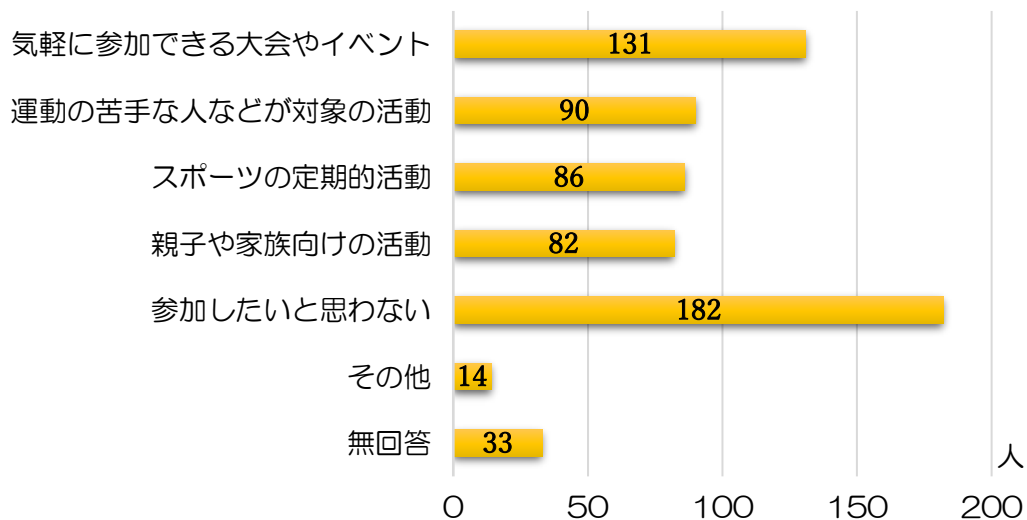
総合型地域スポーツクラブとは、身近な公共施設や学校施設などを利用し、地域住民自らが運営し、多世代・多種目・多志向によるスポーツ活動ができるクラブです。

「知らない」が約59%となり、「知っている」、「なんとなく知っている」、「名前を聞いたことがある」を合わせた約39%を上回り、認知度の向上の必要性が示されました。



問11 あなたは、総合型地域スポーツクラブ遊ぶところで、どのような活動に参加したいと思いますか？（回答は3つまで）

「気軽に参加できる大会やイベント」が最も多く、次いで「運動の苦手な人などが対象の活動」、「スポーツの定期的活動」、「親子や家族向けの活動」と続きました。また、「参加したいと思わない」といった回答も多く寄せられました。

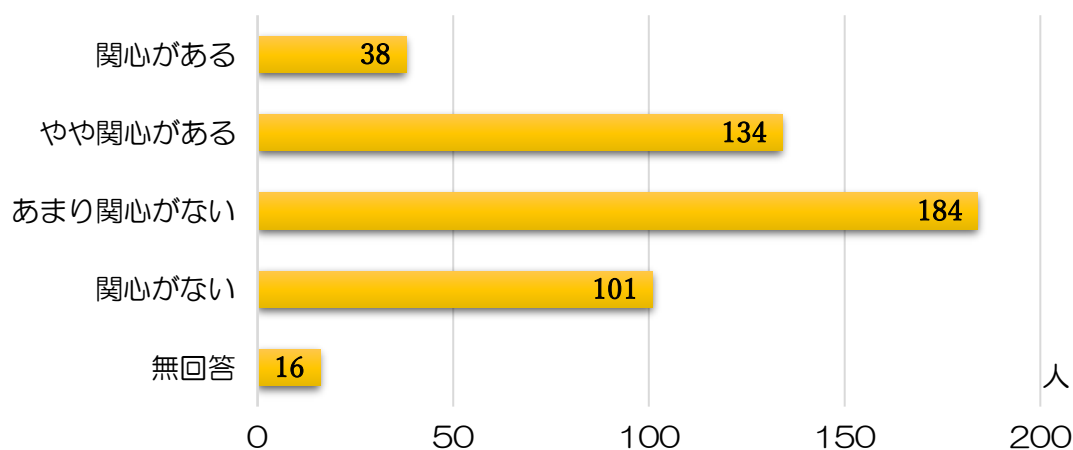


#### V 障がい者スポーツについて

問12 あなたは、障がい者スポーツに関心がありますか？（回答は1つ）

障がい者スポーツとは、障がいがあってもスポーツ活動ができるよう、障がいに応じ競技規則や実施方法を変更したり、用具等を用いて障がいを補ったりする工夫・適合・開発がされたスポーツのことです。

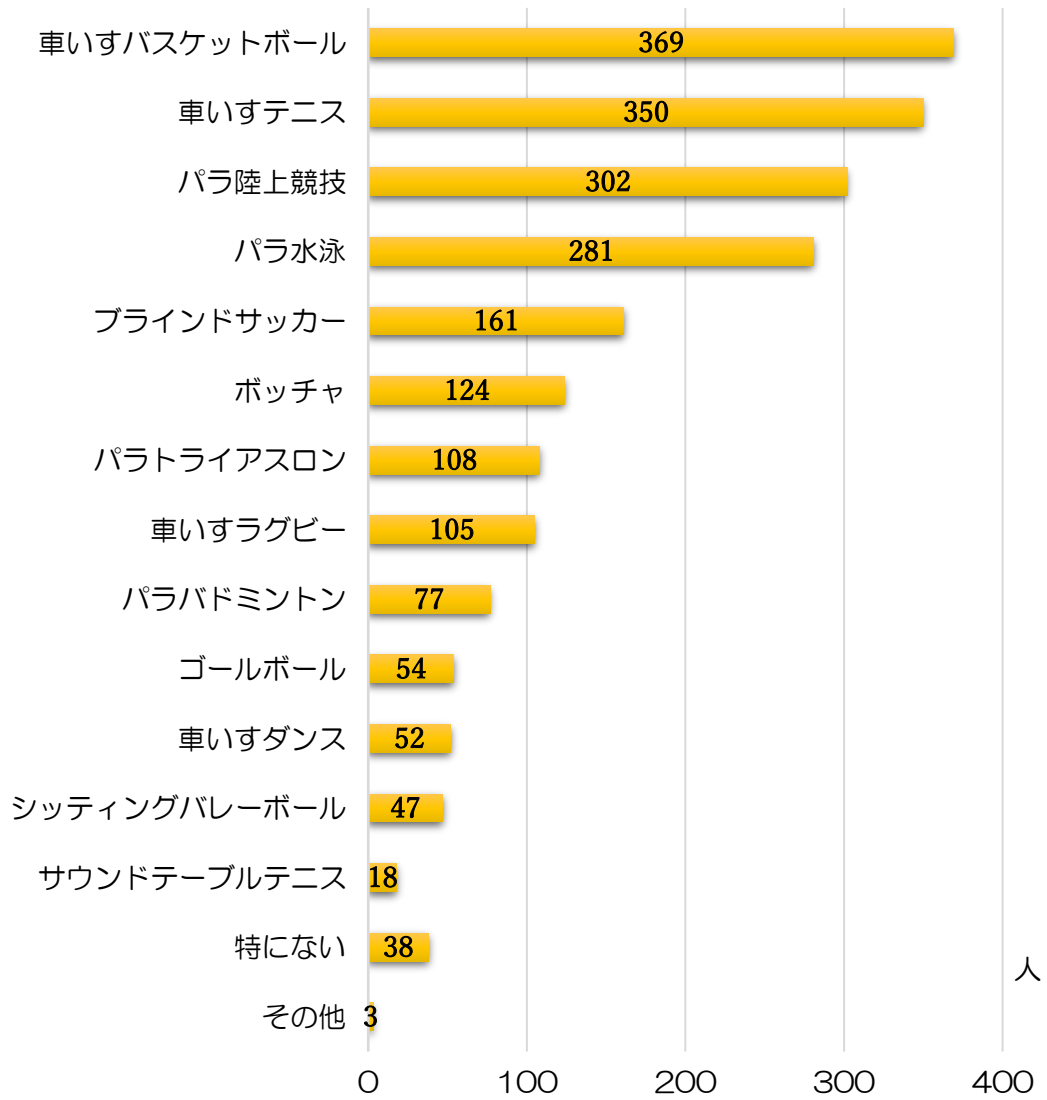
「関心がある」、「やや関心がある」の合計が約36%、「あまり関心がない」「関心がない」の合計が約60%と、まだ関心が低いことが示されました。





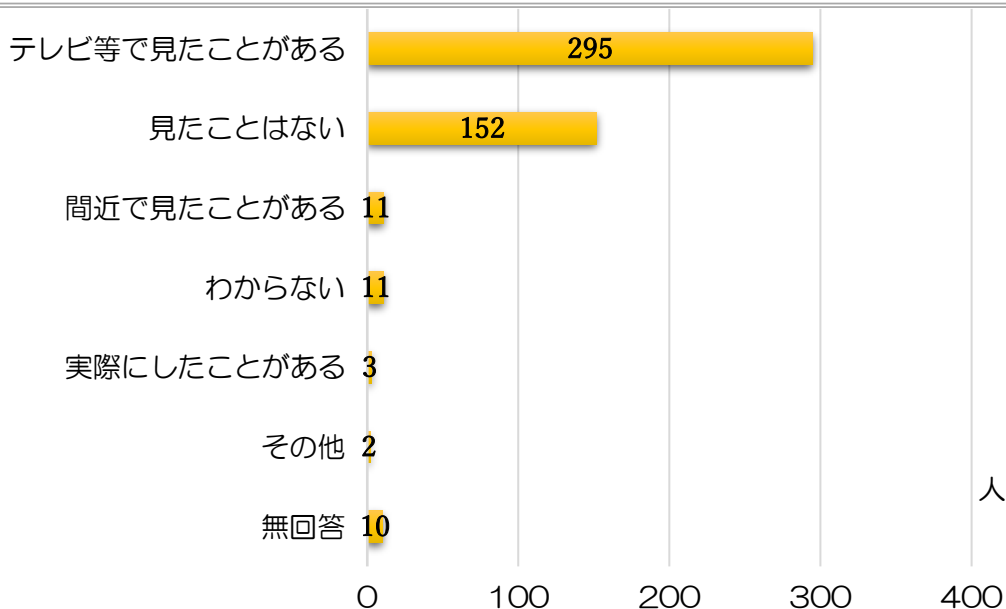
問13 あなたが、知っているまたは聞いたことがある障がい者スポーツは何ですか？  
(複数回答可能)

多くの人が複数の種目を知っていると回答されました。



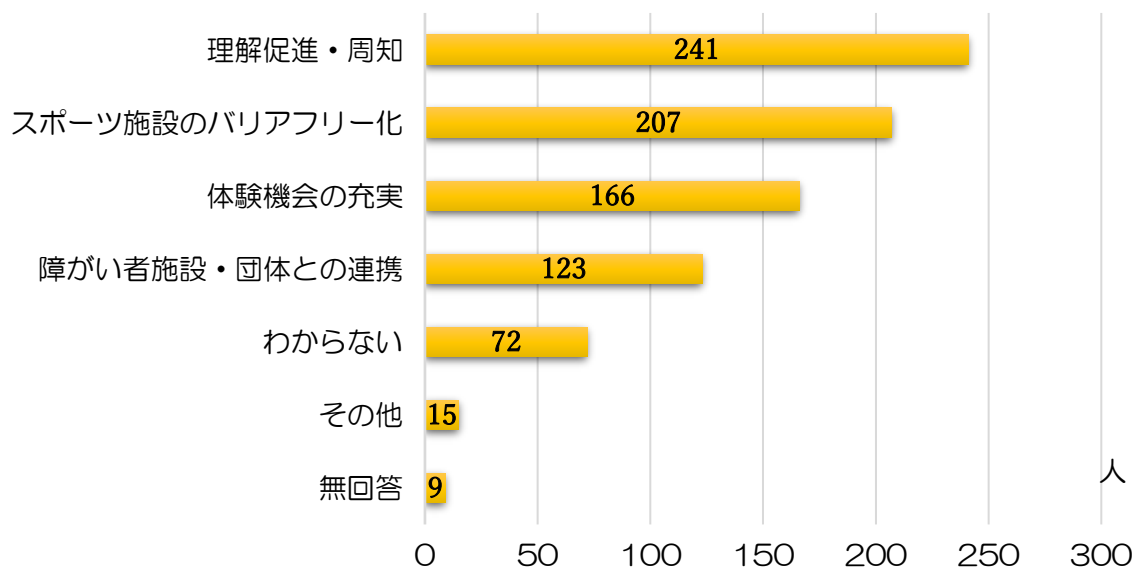
問14 あなたは、この1年間に障がい者スポーツやパラリンピック競技種目をしたことや見たことがありますか？（複数回答可能）

「テレビ等で見たことがある」が最も多く、「見たことはない」が約3割となり、「間近で見たことがある」、「実際にしたことがある」という回答もありました。



問15 あなたは、障がいのある人でもスポーツをしやすい環境をつくるためには、どのような取り組みが必要と思いますか？（回答は3つまで）

「理解促進・周知」が最も多く、次いで「施設のバリアフリー化」「体験機会の充実」、「障がい者施設・団体との連携」と続きました。また、複数回答される方が多くいました。

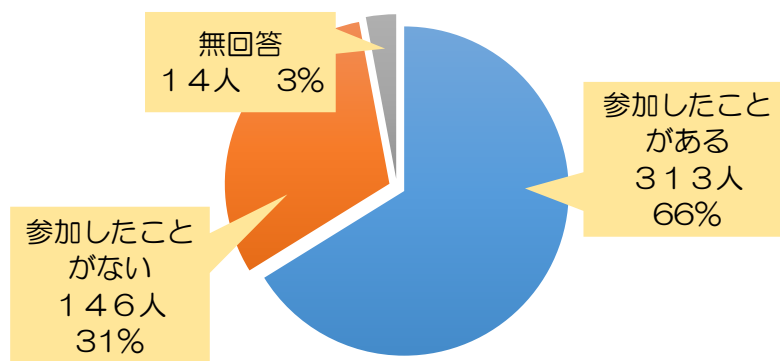


## Ⅵ 市民体育祭について

問16 市民体育祭についてお聞きします。あなたは、市民体育祭に参加（見学・応援含む）したことがありますか？（回答は1つ）

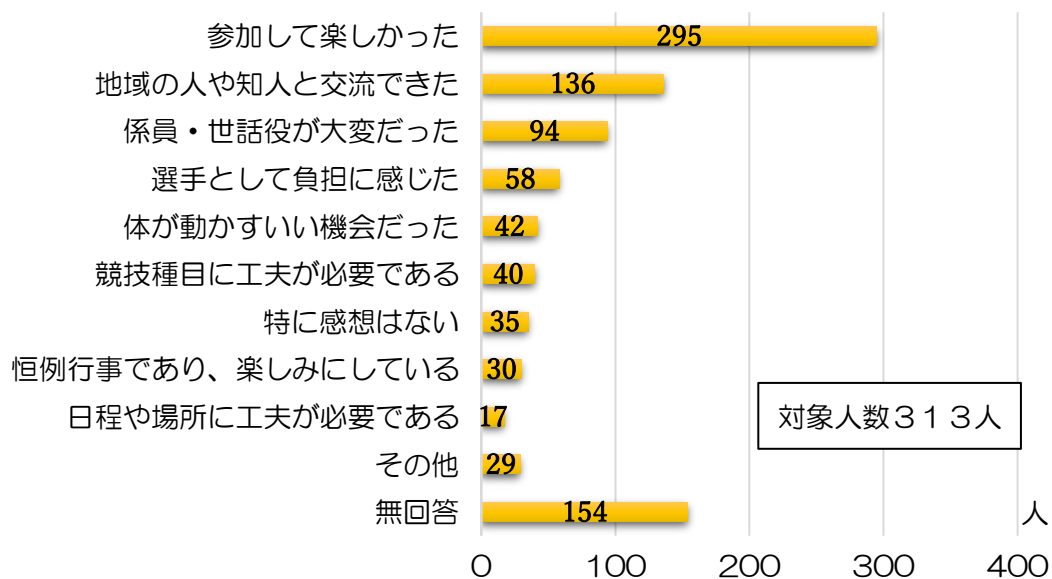
市民体育祭とは・・・地域ごとに開催し、世代を超えて、スポーツやレクリエーションを通じて地域の親睦や交流を図ることを目的に、各大会別に地域代表・各種団体・行政で組織する実行委員会を立ち上げ、開催しています。

約66%の人が「参加したことがある」と回答し、「参加したことがない」の約31%を大きく上回りました。



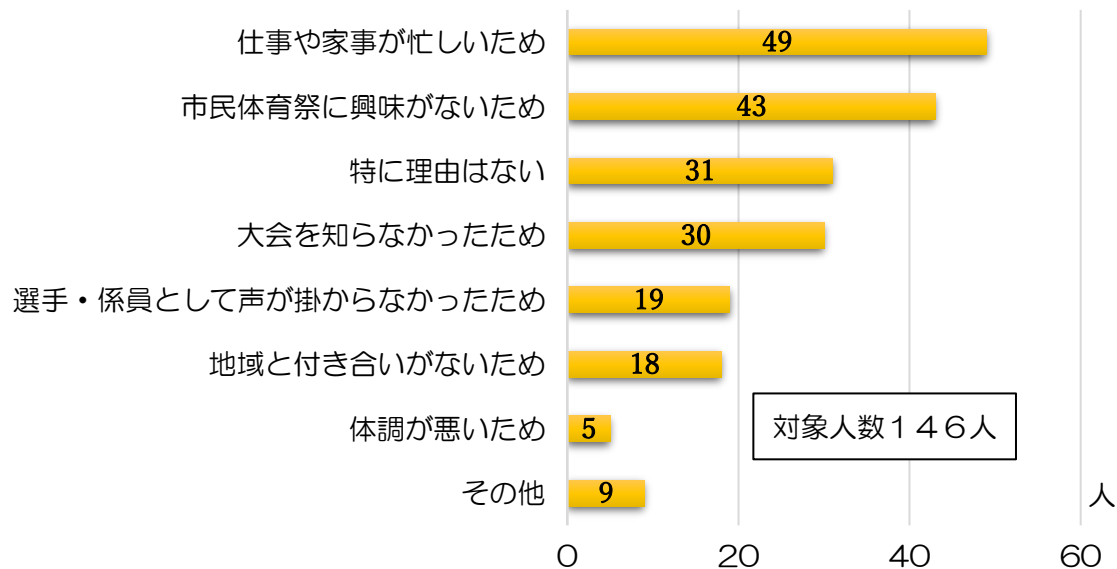
問16-2 問16で「参加（見学・応援含む）したことがある」とお答えになった方に聞きます。参加してどのような感想をお持ちですか？（複数回答可能）

「参加して楽しかった」、「地域の人や知人と交流できた」等の意見がある一方で「係員・世話役が大変だった」、「選手として負担に感じた」等の意見がありました。



問16-3 問16で「参加（見学・応援含む）したことがない」とお答えになった方に聞きます。どのような理由で参加していませんか？（複数回答可能）

「仕事や家事が忙しいため」、「市民体育祭に興味がないため」等の意見がありました。



問17 あなたが、今後の市民体育祭に関して何かご意見があれば、ご自由にご記入ください。

自由記入欄には75件の記入があり、主な意見としては「年に一度は地域が一つになる良い機会」、「体育祭なんて無くても良いのではと思っていたが、実際に参加してみると、皆さん結構楽しそうだった」、「このまま旧町ごとに開催して欲しい」等の意見がある一方で、「子どもの数が少なくなっている地域もあり、選手を決める役員の方の負担が大きくなっている」、「年を重ね孫もいないため、あまり興味がない」等の意見がありました。

また、「工夫・変化が必要である」、「大会は熱中症のことを考慮すると半日程度が良いと思う」「市全体で1つの大会にして欲しい」等の実施にあたって工夫を求める意見もありました。

## 參考資料

## 1 策定経過

令和2年 7月28日	第1回浅口市スポーツ推進審議会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>委員の委嘱</li> <li>前計画の振り返り、新計画の骨子確認、アンケート作成</li> </ul>
9月3日	浅口市教育委員会が、浅口市スポーツ推進審議会に対し「浅口市スポーツ推進計画」について諮問
9月3日～ 10月15日	市民1,000名に対し、「浅口市のスポーツに関するアンケート調査」を実施
12月22日	第2回浅口市スポーツ推進審議会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果報告及び推進計画（素案）審議</li> </ul>
令和3年 1月12日～ 29日	市民を対象にパブリックコメントを実施
2月16日	第3回浅口市スポーツ推進審議会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>推進計画（答申案）審議</li> </ul>
2月19日	浅口市スポーツ推進審議会が、浅口市教育委員会に対し「浅口市スポーツ推進計画」について答申

## 2 浅口市スポーツ推進審議会条例

平成 23 年 12 月 28 日

条例第 26 号

浅口市スポーツ振興審議会条例(平成 21 年浅口市条例第 16 号)の全部を改正する。  
(設置)

第 1 条 スポーツ基本法(平成 23 年法律第 78 号。以下「法」という。)第 31 条の規定に基づき、浅口市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(任務)

第 2 条 審議会は、次に掲げるスポーツの推進に関する重要事項について浅口市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

- (1) 法第 10 条第 1 項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
- (2) 法第 35 条の規定により補助金の交付について意見を述べること。
- (3) スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- (4) スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- (5) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (6) スポーツの団体の育成に関すること。
- (7) スポーツによる事故の防止に関すること。
- (8) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第 3 条 審議会は、10 人以内の委員で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) スポーツ団体の代表者
- (4) 公募に応じた市民

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める。
- 3 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は会長が招集する。ただし、委員の委嘱後、最初の会議は教育委員会が招集する。

- 2 会長は会議の議長となる。
- 3 審議会は、委員の過半数が出席しなければ議事を開き、議決することができない。
- 4 審議会の議事は、委員のうち出席した者の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項については、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。



(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の浅口市スポーツ振興審議会条例(以下「改正前の条例」という。)第3条第2項の規定により委嘱された浅口市スポーツ振興審議会(以下「旧審議会」という。)の委員である者は、この条例の施行の日に、第3条第2項の規定により、審議会の委員として委嘱されたものとみなす。この場合において、その委嘱されたものとみなされる者の任期は、第4条の規定に関わらず、同日における旧審議会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。
- 3 この条例の施行の際現に改正前の条例第5条第2項の規定により選任された会長又は副会長である者は、それぞれ、この条例の施行の日に、第5条第2項の規定により審議会の会長又は副会長として選任されたものとみなす。

### 3 浅口市スポーツ推進審議会委員名簿

	氏 名	役 職	備 考
1	高島 建身	会 長	浅口市スポーツ推進委員協議会会長 浅口市スポーツ協会会長
2	原田 洋土	副会長	市内公立中学校校長代表 寄島中学校校長
3	山本 武司	委 員	浅口市スポーツ少年団本部長
4	遠藤 正一	委 員	NPO 法人あさくちスポーツクラブ遊ぶところ 理事長
5	虫明 美鳥	委 員	浅口市発達障がい児親の会 ビリーブ代表
6	坂本 正恵	委 員	元中学校校長（体育教諭）
7	妹尾 義信	委 員	公募（子ども会指導者クラブ所属）
8	石田 満彦	委 員	市内公立小学校校長代表 鴨方西小学校校長



## 浅口市スポーツ推進計画

編集・発行 浅口市教育委員会事務局 生涯学習課

〒719-0243 岡山県浅口市鴨方町鴨方2244-2

TEL0865-44-7001 FAX0865-44-7602

E-mail [shogaigakushu@city.asakuchi.okayama.jp](mailto:shogaigakushu@city.asakuchi.okayama.jp)